14　　美しい女の正体　　　　　読解のつぼ①　文脈から助動詞の意味を捉える

無事に通った者がいないとの橋を、男は馬で渡っていた。すると美しい女性がいた。

男これを見るに、さらに来し方行く末も覚えず、「かき乗せて行かばや」と、①落ちかかりぬべくあはれに思へども、「ここにかかる者のあるⓐべきさまなければ、これは鬼なんⓑめり」とて、「過ぎなⓒむ」とひとへに思ひなして、目をふさぎて走り打ちて通るを、この女、「今やもの言ひかくる」と待ちけるに、に過ぐれば、「や、の主。などかいとなさけなくては過ぎ給ふ。あさましく思ひかけぬところに人の棄てて行きたるⓓなり。人里まで率ておはせ」と言ふをも聞きはてず、頭身の毛太るやうにおぼえければ、馬をかき早めて、飛ぶがごとくに行くを、この女、「あななさけな」と言ふ声、地を響かすばかりなり。立ち走りて来たれば、「②さればよ」と思ふに、「観音、助け給へ」と念じてあさましくとき馬をを打ちてすれば、鬼走りかかりて馬のに手を打ちかけ打ちかけ引きつるに、油を塗りたれば、引き外し引き外ししてえとらへず。

* 語注

油を塗りたれば＝男があらかじめ馬の尾に油を塗っているので。

【原文】

男これを見るに、さらに来し方行く末も覚えず、「かき乗せて行かばや」と、落ちかかりぬべくあはれに思へども、「ここにかかる者のあるべきさまなければ、これは鬼なんめり」とて、「過ぎなむ」とひとへに思ひなして、目をふさぎて走り打ちて通るを、この女、「今やもの言ひかくる」と待ちけるに、無音に過ぐれば、「や、彼の主。などかいとなさけなくては過ぎ給ふ。あさましく思ひかけぬところに人の棄てて行きたるなり。人里まで率ておはせ」と言ふをも聞きはてず、頭身の毛太るやうにおぼえければ、馬をかき早めて、飛ぶがごとくに行くを、この女、「あななさけな」と言ふ声、地を響かすばかりなり。立ち走りて来たれば、「さればよ」と思ふに、「観音、助け給へ」と念じてあさましくとき馬を鞭を打ちて馳すれば、鬼走りかかりて馬の尻に手を打ちかけ打ちかけ引きつるに、油を塗りたれば、引き外し引き外ししてえとらへず。

問一　二重線部ⓐ～ⓓの助動詞の文法的意味を答えよ。〈５点×４〉

ⓐ〔　　　　　　　　　　〕　ⓑ〔　　　　　　　　　　〕

ⓒ〔　　　　　　　　　　〕　ⓓ〔　　　　　　　　　　〕

問二　傍線部①について、

（1）　助動詞「ぬ」「べく」の文法的意味を答えよ。〈５点×２〉

「ぬ」　＝〔　　　　　　　　　　〕

「べく」＝〔　　　　　　　　　　〕

（2）　ここでの男の様子を説明したものとして、最も適当なものを選べ。〈10点〉

ア　女が発する不可思議な魔力のため、馬上で上体を崩しそうになっている。

イ　自分が落馬することを覚悟してまで、女を何とか助けようとしている。

ウ　今にも落馬しそうになるほど、女に心をかれている。

エ　無事に女を馬に乗せるための方法が、全く思いつかないでいる。

〔　　　〕

問三　傍線部②を、言葉を補って十五字以内で現代語訳せよ。〈10点〉

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕【解答】

問一　ⓐ＝当然　ⓑ＝推定　ⓒ＝意志　ⓓ＝断定〈５点×４〉

問二　(1)　「ぬ」＝強意　「べく」＝推量〈５点×２〉

　　　(2)　ウ〈10点〉

問三　思ったとおり女は鬼であったよ。（15字）〈10点〉

【現代語訳】

男はこれを見ると、全く前後不覚になり、「（馬に）乗せて行きたい」と、（女の上へ）落ちていってしまいそうに愛しく思うけれど、「ここにこのような者がいるはずのわけがないので、これは鬼であるようだ」と思って、「行き過ぎてしまおう」と（男は）ひたすらに思い込んで、目を閉じて（馬を）鞭打って走り通るが、この女は、「今にもものを言いかけるか」と待っていたのに、（男が）黙って通り過ぎるので、「もし、そこのお方。どうしてそれほど思いやりなく通り過ぎなさるのか。ひどく思いよらないところに人が（私を）捨てて行ったのだ。人里まで（私を）お連れください」と言うことをも（男は）聞き終わらず、頭髪も身体の毛も太くなるように感じたので、馬を速めて、飛ぶように行くので、この女が、「まあつれない」 と言う声は、大地をとどろかせるほどである。（女が）立って走って（追いかけて）来たので、「思ったとおり（女は鬼であった）よ」と（男は）思うと、「観音様、お助けください」と祈って驚くほど速い馬を鞭を打って走らせると、鬼は走りかかって馬の尻に手を掛け手を掛け引っ張ったが、（馬の尾に）油を塗っているので、（女（鬼）は）引き外し引き外しして（男（馬）を）捕まえることができない。

【補充問題】（＊行数は本書に対応）

問１　「かき乗せて行かばや」（１行目）を、現代語訳せよ。

問２　女の説明として最も適当なものを選べ。

ア　男が鬼に違いないと警戒せざるを得ないような、恐ろしい形相をして立っていた。

イ　男の姿を見るやいなや、あきれるほどひどい人に捨てられた経緯を説明し始めた。

ウ　驚きあきれるほどつらいことがあり、人里離れたところに捨てられることとなった。

エ　男に逃げられそうだと思うと、人間では考えられない速度で走って追いかけてきた。

【補充問題解答】

問１　（馬に）乗せて行きたい。

問２　エ